

くすりのしおり

620006547

2012年12月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。このために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：ロメフロキシロン耳科用液 0.3%

主成分：塩酸ロメフロキサシン（Lomefloxacin hydrochloride）

剤形：無色澄明な水性耳下用液剤

シート記載：ロメフロキシロン耳科用液 0.3%



この薬の作用と効果について

感染症を引き起こしている細菌のDNA合成を阻害することにより殺菌作用を示すニューキノロン系抗菌剤です。

通常、外耳炎、中耳炎の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・ 以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。
- ・ 妊娠または授乳中
- ・ 他に薬を使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、大衆薬も含めて他に使用中の医薬品に注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・ あなたの用法・用量は《 》：医療担当者記入》
- ・ 通常、1回6～10滴点耳し、約10分間の耳浴を1日2回行いますが、症状により適宜回数は増減されます。必ず指示された使用方法に従ってください。
- ・ 点耳する際、薬液を部屋の温度に戻してから用いてください。冷たい薬液を点耳すると、「めまい」を起こすことがあります。また、治療する耳を上にして横になり、容器の先端が直接耳に触れないよう注意して、点耳してください。耳浴後はきれいなガーゼ等を耳に当てて起き上がり、流れた液を拭き取ってください。
- ・ 使い忘れた場合は気がついた時に1回分を点耳してください。同日の2回目の投与はできる限り間隔をあけて点耳してください。
- ・ 誤って多く使用した場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・ 医師の指示なしに、自分の判断で使用するのを止めないでください。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、外耳道のかゆみ、点耳時耳痛、刺激感、一過性の聴力低下、発疹、過敏症状などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・ 呼吸困難、顔面などの浮腫、蕁麻疹 [ショック、アナフィラキシー様症状]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法その他

- ・ 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて室温で保管してください。
- ・ 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。
- ・ 他の容器に入れ替えないでください（誤用の原因になったり、品質が変わります）。
- ・ 容器に他のものを入れて使用しないでください。

医療担当者記入欄 年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。